

令和4年度
11月号

幼稚園だより



令和4年10月31日
文京区立湯島幼稚園

「一人一人の思い」

園長 前田 宏子

木々の葉も色づき始め、寒さが増して秋が深まってきました。園庭では寒さを感じる日もありますが、子どもたちは元気いっぱいに遊んでいます。

先日園庭で5歳児の子どもたち3、4人がマルチパネを使って遊び始めました。様々なパーツを組み合わせて作っていました。「ちょっと手伝って」「ここがうまく入らないよ」「こうやるといいんだよ」とたくさんの言葉を交わしながら、皆で一緒にロボットを作り上げていました。その横で3歳児Aくんが一人じっと見ていました。しばらくするとその場にしゃがみ、そばにあったマルチパネの小さなパーツを手に取りました。その時、5歳児BくんがAくんに「入りたい？」と聞きました。Aくんはあまりしゃべりませんでした。離れたところから様子を見ていた教師と5歳児の子どもたちが話して、Aくんと数人の3歳児がマルチパネで作ったロボットの中に入れてもらいました。たくさんの言葉を交わして遊ぶ5歳児の子どもたち、じっと見ていたAくん。その場面で発達に合わせた教師の援助が5歳児の子どもたちとAくんたちをつなぎ、その場にいた子どもたちも気持ちがつながった嬉しさを感じることができました。

先週の金曜日はしらうめ会が主催するガレージセールが開催されました。開催にあたりたくさんの保護者の皆様と修了生の保護者の皆様にもご協力をいただきました。ありがとうございました。当日は登園時から子どもたちもソワソワしながら楽しみにしていました。時間になると5歳児ゆり組からおうちの方がいるお店屋さんに行ってきました。目をキラキラさせながらいろいろな品物を見て、自分が買いたいものを決めていきます。迷わず自分の欲しいものを手に取ってレジに向かう子。じっくり品物を吟味している子、何を選んだらいいのか迷ってしまう子などいろいろな子どもの様子がありました。お店屋さんのお母さま方とも「いろいろなタイプの子がいますね」と話をしました。

同じ場面においても、子どもたちの姿は様々です。様子を見ながらその時々に必要な援助をしていくことが大切です。これからも子どもたちのつぶやきや思いに耳を傾けてより楽しめる援助をしていきたいと思えます。